

令和7年度 科学研究費助成事業説明会資料

「researchmap」 及び 「プレプリントサーバ Jxiv」 について



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

▶ researchmap

令和7年度 科学研究費助成事業説明会資料

researchmapについて



情報基盤事業部 人材情報グループ

researchmapとは



- 日本の研究者総覧として約38万人の研究者が登録している研究者データベース
- 研究者総覧作成に登録情報を利用可能
- 政策立案等に資する分析基盤として活用可能
- 科研費審査時に審査委員が業績情報を必要に応じて参照するデータベースの一つ

科研費の審査では、審査委員が業績情報の確認のため
researchmapを参照する場合がありますので、
**researchmapへの登録は
お忘れなきようお願いいたします**

researchmapの「マイポータル」とは

- researchmap上の研究者個人ページのこと
- 研究者の業績の登録・管理が可能
- 情報発信が可能、研究者間のコミュニケーションツール機能も充実

マイポータルイメージ



researchmapの登録項目

#	項目	#	項目
1	氏名	13	論文
2	研究者番号	14	MISC (報告書や研究ノート等)
3	所属機関名	15	講演・口頭発表等
4	学位	16	書籍等出版物
5	性別	17	担当経験のある科目
6	研究キーワード	18	Works
7	研究分野	19	共同研究・競争的資金等の研究課題
8	経歴	20	産業財産権
9	学歴	21	社会貢献活動
10	受賞	22	学術貢献活動
11	委員歴	23	メディア報道
12	所属学協会	24	その他

正確な業績の登録、定期的な情報の更新をして、
研究者情報を正しく管理・発信してください

researchmap活用のメリット

- researchmapを活用していただければ、研究者にも、大学等機関にも、さまざまなメリットがあります。

研究者のメリット

- 機関を異動してもresearchmapの**業績データ**を利用し続けられる
- **研究費の申請、報告**にresearchmapの業績データを利用できる
- 論文データベースなどの外部システムからresearchmapへ**業績取り込み**ができ、**業績データを簡単に更新**できる



大学等機関のメリット

- 転入、新規採用した研究者の**業績をすぐに把握**し、研究者総覧・業績入力システムに反映することができる
- 総覧・業績入力システムの**開発コスト、保守コストが削減**できる
- 大学では契約していない**有料の論文データベースからの業績取り込み**ができる



研究者自身による新規登録 1-1

- e-Radの研究者番号を持っている場合
⇒TOPページの **新規登録** からアカウント登録

The screenshot shows the researchmap website interface. At the top right, the '新規登録' (New Registration) button is highlighted with a red box. Below it, a banner reads 'ようこそ! researchmapへ! 業績管理をもっと簡単に、もっと快適に。' (Welcome to researchmap! Manage your performance more easily and more comfortably.).

The 'アカウント登録' (Account Registration) section is shown below, with a progress bar indicating three steps: 1. アカウント登録の受付 (Account Registration Reception), 2. 入力内容の確認 (Input Content Confirmation), and 3. 登録完了 (Registration Complete). The first step is active.

The registration form includes the following fields and options:

- 研究者番号 (Researcher ID): A text input field with a red asterisk.
- 公開性 (Publicity): Radio buttons for '公開' (Public), '研究者のみに公開' (Public to researchers only), and '非公開' (Private). A note below states: '非公開に設定しても、所属機関の事務担当者は閲覧できます。予めご了承ください。' (Even if set to private, staff of the affiliated institution can view it. Please be aware of this in advance.)
- 氏名 (Name): Fields for '姓(日本語)' (Surname in Japanese), '名(日本語)' (First name in Japanese), '姓(英語)' (Surname in English), '名(英語)' (First name in English), and '氏名(カナ)' (Name in Kana).

研究者番号の入力を誤ると、科研費審査委員が登録情報を参照する際、他者の登録情報が表示されることとなります。十分ご注意ください。



詳しくは、動画マニュアル「アカウントを登録する方法1」をご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=1jtUwsOv9ds>

研究者自身による新規登録 1-2

- 登録はアカウント登録画面で行う。
- 登録時の必須項目は下記のとおり。

● 必須項目

- ・研究者番号
- ・氏名
- ・所属機関名
- ・所属区分（選択式）
- ・職階（選択式）
- ・ログインID（各自で設定）
- ・パスワード（各自で設定）
- ・eメールアドレス
- ・性別
- ・生年月日
- ・パーマリンク

非公開、公開、研究者のみ公開
を選択可能な項目あり

● 任意項目

- ・部署名、職名、称号

研究者自身による新規登録 2

- e-Radの研究者番号を持っておらず、自身で新規登録する場合

⇒TOPページ **新規登録** →

アカウント登録画面 **新規登録依頼** →新規登録



詳しくは、**動画マニュアル「アカウントを登録する方法 2」**をご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=WpIyyYJnr40>

研究者自身による新規登録 3

- e-Radの研究者番号を持っておらず、登録済みの研究者に招待してもらう場合
⇒TOPページの **研究者をさがす** より、登録済みの研究者をさがして
招待を依頼し、招待を受けて新規登録

The image shows two screenshots of the researchmap website. The top screenshot shows the main page with the navigation menu. The '研究者をさがす' (Find Researchers) link is highlighted with a red box. Below the navigation menu is a banner for 'ようこそ! researchmapへ!' (Welcome to researchmap!) and a section for '研究者/研究機関のプレスリリース' (Press releases of researchers/research institutions) with various filters. The bottom screenshot shows the '研究者をさがす' (Find Researchers) page, which has a search bar for '研究者検索' (Researcher search) and a search button. The footer of the website is visible, including the copyright notice '© 2017 researchmap' and the JST logo.



詳しくは、動画マニュアル「アカウントを登録する方法3」をご視聴ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=1skLp0dCkD4>

研究者自身による新規登録時の留意点

- 以前もしくは現在の所属機関が、researchmapで既にご自身のアカウントを作成していることがあります。
- **研究者をさがす** からご自身の名前で検索を行い、登録がないことを確認してから新規登録を行ってください。



ご自身のアカウントが複数存在していた場合は、
アカウントの削除もしくは統合をお願いします。
科研費電子申請システムとの連携が機能しない場合があります。

詳細は以下の利用者マニュアルをご覧ください

- 重複アカウントを統合する

[https://guide.researchmap.jp/index.php/Researchmap利用者マニュアル/研究者用/
その他操作/重複アカウントを統合する](https://guide.researchmap.jp/index.php/Researchmap利用者マニュアル/研究者用/その他操作/重複アカウントを統合する)

研究者番号の確認・追加方法

科研費電子申請システムからの参照には
researchmapへ研究者番号の登録が必要です

- マイポータル中央 基本情報 右の **編集** から
基本項目編集画面に入る。
- 「研究者番号、ORCID iD等のID項目」タブ内
の「研究者番号」を確認・入力し、**決定**を
押下する。



研究者番号の登録がないと、審査時に科研費電子申請システムから
researchmap登録情報を参照することができません。
※参照に当たっては、研究者番号の公開範囲、認証状況は問いません。

研究者番号の登録確認について

以下のいずれかの方法で新規登録された場合、研究者番号が登録されていないことがあります。

○研究者番号が登録されていない代表的なケース

- ・ 研究者自身が新規登録依頼フォームより新規登録
- ・ 研究者自身が登録済みの研究者から招待を受けて新規登録
- ・ 機関担当者による登録

上記の方法で新規登録された方は、ご自身のマイポータルにログインして、研究者番号が登録されていることを確認してください。

外部データベースからの業績情報の取り込み 1

業績情報を登録する際、外部データベースから情報を取り込むことができます。



The screenshot shows the researchmap profile page for Taro Kagaku. A red box highlights the button labeled "外部システムからのデータ取り込み" (Import data from external system). A blue arrow points from this button to a list of external databases on the right side of the page.

外部システムからのデータ取り込み

- 論文・Miscの取り込み
 - DBLP
 - PubMed
 - ORCID
 - Web of Science
 - CiNii Research
 - arXiv
 - Scopus
 - 医中誌Web
 - J-GLOBAL 文献情報
- 書籍の取り込み
 - CiNii Books
- 共同研究・競争的資金等の研究課題の取り込み
 - 科研費取得状況
- 産業財産権の取り込み
 - J-GLOBAL 特許情報



詳しくは、動画マニュアル「業績を登録する方法1」をご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=56Fk5Dg24JI>

外部データベースからの業績情報の取り込み 2

以下の外部データベースから、情報を取り込むことができます。

#	データベース名	取り込める情報	researchmapの業績項目
1	arXiv	学術論文情報	論文、MISC
2	CiNii Research	学術論文情報	論文、MISC
	CiNii Books	日本の大学図書館収蔵書籍情報	書籍等出版物
3	DBLP	情報処理分野の大学論文情報	論文、MISC
4	J-GLOBAL	J-GLOBALに登録の業績情報	論文、MISC、産業財産権、共同研究・競争的資金等の研究課題
5	KAKEN	科研費取得情報	共同研究・競争的資金等の研究課題
6	ORCID	学術論文情報	論文、MISC
7	PubMed	医学・バイオ系学術論文情報	論文、MISC
8	Scopus	学術論文情報	論文、MISC
9	Web of Science	学術論文情報	論文、MISC
10	医中誌Web	医・歯・薬・看護学系学術論文情報	論文、MISC

AIによる業績のサジェスト・自動更新

令和2年2月より、AIが業績を自動で推薦したり、登録業績情報を補完したりすることが可能になりました。

サジェストされた業績がご自身のものであれば **承認**、異なる場合には **却下** を選択し、公開情報に反映してください。



いったん、AIによってサジェストされた業績に対し、承認/却下を登録すると、元に戻すことはできませんので、ご注意ください



詳しくは、**動画マニュアル「AIサジェストの承認/却下方法」**をご視聴ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=IWADXvYg6Fk>

登録情報のバックアップ法 1

マイポータルホーム **エクスポート** →
 研究者・業績・代理人エクスポート画面 **エクスポート** → (p.21へ続く)

researchmapでは、
**定期的な
 登録情報の
 バックアップ**を
 推奨しています。



詳しくは、**動画マニュアル「業績をエクスポートする方法」**をご視聴ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=LK0HwLm0NpA>

登録情報のバックアップ法 2

研究者・業績データエクスポート画面にて、各種設定後、**エクスポート** →
 研究者・業績・代理人エクスポート画面にて、表示されたファイル名をクリック →
 研究者・業績データダウンロード画面にて、**ダウンロード**

研究者・業績データエクスポート

エクスポートする出力形式、出力対象を選択し、[エクスポート]を押してください。エクスポートファイルのファイル定義についてはこちらを参照してください。

出力条件 researchmapID[R000015896]

出力形式 json csv

出力対象

- 研究者情報
 - アカウント情報(eメール等)
 - 基本情報(氏名等)
- 業績情報
 - 全選択

経歴 研究キーワード 研究分野
 委員歴 受賞 学歴
 MISC 書籍等出版物 論文
 担当経験のある科目(授業) 所属学協会 講演・口頭発表等
 学術貢献活動 共同研究・競争的資金等の研究課題 Works(作品等)
 その他 産業財産権
 社会貢献活動
 メディア報道

出力期間 年 月 - 年 月

別々のファイルとしてダウンロードする

科学 太郎
カガク タロウ (Taro Kagaku)

研究者・業績・代理人エクスポート

研究者情報、代理人情報のエクスポート結果一覧です。エクスポート完了日から1ヶ月以上経過したファイルは削除され、履歴のみ参照可能となります。また、状態が「処理待ち」のものは、順次処理を開始しますので、しばらくお待ちください。

エクスポートファイル(m_researchers20210525.zip)のエクスポートが終了しました。こちらよりダウンロードしてください。

ファイル名	状態	登録日時	(予想)完了日時
rm_researchers20210525.zip (11)	完了	13:23	13:23

研究者・業績データダウンロード

[rm_researchers20210525.zip](#)

Zip/パスワード 5X2-zN_q@G

出力条件 researchmapID[R000020396]

出力対象 研究者情報(基本情報)、業績

処理件数 111

実施者 科学 太郎

登録日時 13:23

(予想)完了日時 13:23

すべての情報を保存できる形式であるため、出力形式は、「JSON」を推奨しています

よくある質問 1

- Q. 複数のアカウントを所持していますが、デメリットはありますか。
- A. 科研費電子申請システムとの連携が機能しない場合があります。
アカウントを複数所持している方は、削除または統合をお願いいたします。
- Q. 新規登録しようとしたら「既に登録されています」とメッセージが出ました。
- A. 研究者検索から、既登録情報がないか、確認をしてください。
- Q. 新規登録・更新したのに「研究者をさがす」でヒットしません。
- A. 新規登録情報や更新した情報は、検索できるようになるまで最大1日ほどかかります。

下記の「よくある質問（FAQ）」もあわせてご覧ください

<https://researchmap.jp/public/FAQ-1>

よくある質問 2

Q. researchmapにはどのような名前を登録できますか。

A.「氏名」にはご自身の登録したい氏名を登録いただけます。

また「通称等の別名」に、改姓後の氏名や旧姓、その他研究活動で使用する通称を登録し、公開することができます。

加えて、「業績に使用する名前の表記」に、論文や著書等で著者名として使用したことのある名前の表記を登録することで、AIの名寄せ精度が向上します。

Q. ORCIDとアカウント連携すると、何かメリットはありますか。

A. ORCIDと連携することで、ORCID上にすでに登録している業績を自動取り込みできます。また、例えばORCIDとJaLCを連携していれば、自身のORCID IDが含まれるJaLCコンテンツをORCID経由で自動的に取り込めます。

詳しい操作や機能は「利用者マニュアル」をご覧ください
<https://researchmap.jp/public/inquiry/manual>

ログインができない (ログインID/パスワードがわからない) 場合

- 登録したメールアドレスがわかっている場合
→ ログイン画面「パスワードがわからない方はこちら」からパスワードの再登録

ログイン

ログインID*

パスワード*

ログイン

パスワードがわからない方はこちら

researchmap

パスワード再発行

1 パスワード再発行

2 認証キー確認

3 新しいパスワードの登録

Eメール*

キャンセル 次へ

- メールアドレスが不明、もしくは利用できない場合
→ メニュー「サポート」→「お問い合わせ」からお問い合わせフォームにて

researchmap

サポート

利用者マニュアル
動画マニュアル
クイックガイド
お問い合わせ
よくある質問 (FAQ)
利用規約・ポリシー

researchmap

お問い合わせ

お問い合わせフォーム

ねこを押してください

次へ

情報登録時の注意事項

- researchmapで登録する研究者番号は、非公開設定でもよいのか。
⇒研究者番号は非公開でもかまいません。researchmapに登録されていれば科研費電子申請システムから参照することができます。
- 登録業績情報を非公開設定にしても、科研費の審査で参照できるのか。
⇒非公開設定になっている業績は参照することはできませんので、参照を希望する業績は公開設定にしてください。
- 科研費応募締め切りまでにresearchmapを更新すればよいのか。
⇒researchmapとしては、更新の期限は設けておりません。

研究者番号の入力を誤ると、科研費審査委員が登録情報を参照する際、他者の登録情報が表示されることとなります。
十分ご注意ください。

▶researchmap へのアクセス

- トップページ

<https://researchmap.jp/>

- 動画マニュアル

<https://researchmap.jp/public/inquiry/video>

- クイックガイド

<https://researchmap.jp/public/inquiry/quickguide>

- パンフレット

https://researchmap.jp/outline/rr_manual/rmapV2_pamph.pdf



お問い合わせ

JSTサービス支援センター
Webお問い合わせフォーム

<https://researchmap.jp/public/inquiry/inquiry/>

令和7年度 科学研究費助成事業説明会資料

JSTプレプリントサーバのご紹介

JXIV

情報基盤事業部 研究成果情報グループ



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

日本発の プレプリントサーバ

Jxiv

[ジェイカイク]



2022年3月より運用

プレプリント(査読前論文)にDOIを付与、オープンアクセスで公開

- ・対象分野：全て(学際的分野含む)
- ・言語：日本語、英語
- ・投稿：researchmapまたはORCIDのIDを所持する研究者
- ・閲覧：誰でも、無料(アカウント不要)

プレプリントサーバの利用メリット

プレプリントサーバを利用するメリット

✓ 研究成果をいち早く公開することができる

査読付き学術誌(ジャーナル)の場合は、投稿から掲載までに数週間～数年かかることもあるが、プレプリントサーバでは数日で公開可能。

- 投稿論文に関する議論の活性化、研究コミュニティの活性化
- 先取権の獲得

世界のプレプリントサーバの例

分野別プレプリントサーバ

物理学 : arXiv (1991-) 生命科学 : bioRxiv (2013-)
化学 : ChemRxiv (2017-) 医学 : medRxiv (2019-)
社会科学 : SSRN (1994-) 工学 : engrXiv (2016-)

地域別プレプリントサーバ(公的資金により運営)

中国 : ChinaXiv (中国科学院 国家科学図書館(NSL)、2016-)
インドネシア : RINarxiv (インドネシア科学院(LIPI)、2018-)
ブラジル、アルゼンチンなど : SciELO Preprints (SciELO、2020-)

Jxiv機能概要

システムの標準運用/基本機能等

- iThenticateによる類似性チェック
- スクリーニング後に公開
- 全ての論文にDOIを付与
- オープンアクセスで公開
- CCライセンス表示
- アクセス統計を表示
- 日本語/英語の画面表示
- Google Scholar/J-GLOBALとの連携

スクリーニングの観点:

- 論文の体裁をなしているか
- 科学とみなされるものであるか
- 法的な問題、倫理的な問題はないか
- 剽窃はないか 等

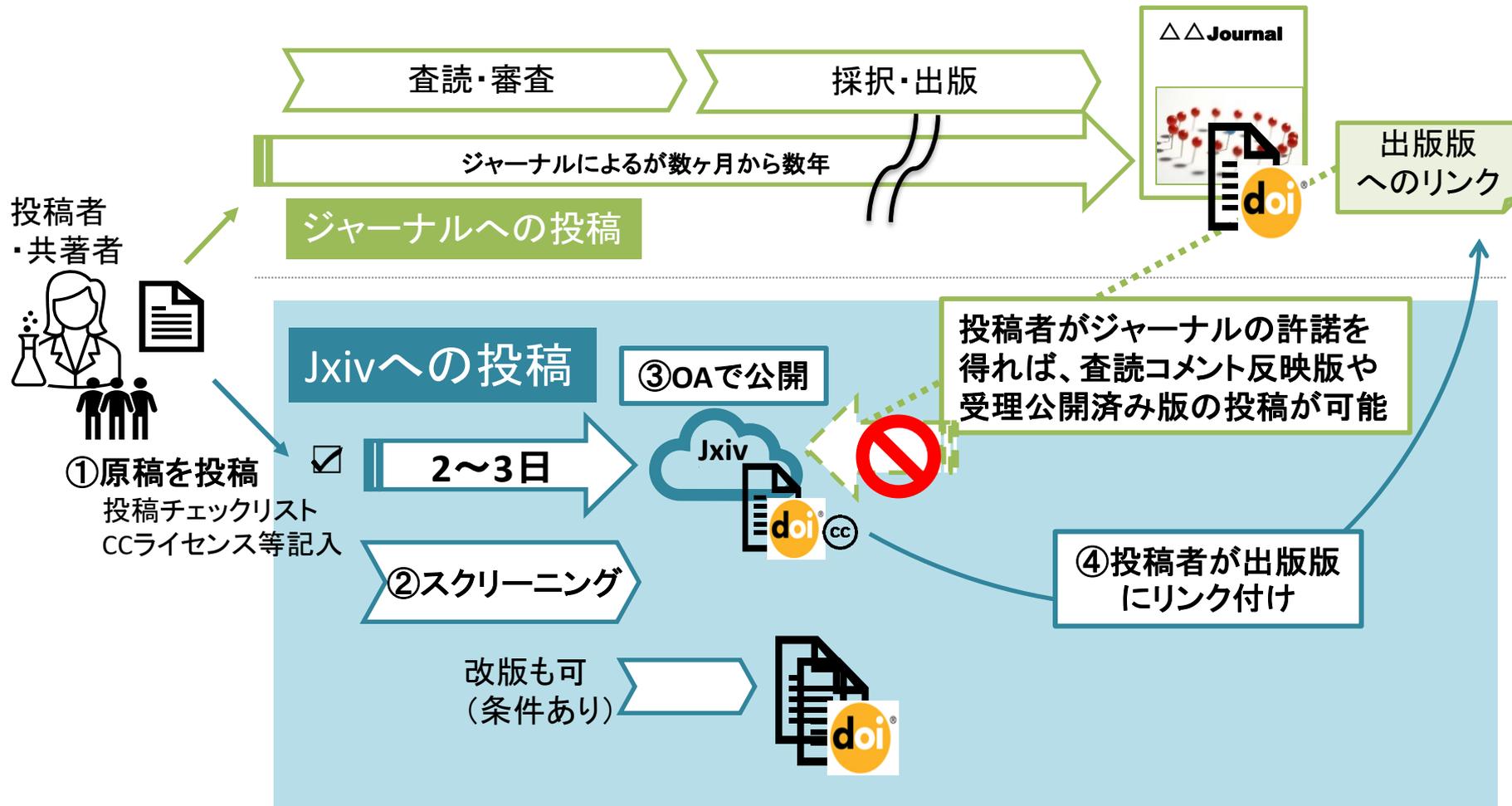
選択的機能

- 改版可能
- 付随データ公開可能
- 出版版論文へのリンク付け可能

今後学術データベースなどとの連携を拡大する予定



投稿から公開までの流れ



Jxivを閲覧する



The image displays two side-by-side screenshots of the Jxiv website interface. The left screenshot is the Japanese interface, and the right is the English interface. Annotations in orange and purple highlight the language selection process and the PDF download flow.

日本語インターフェイス (Left):

- Header: Jxiv 日本語インターフェイス
- Navigation: ホーム / 情報科学
- Language Selection: 言語 (日本語, English)
- PDF Icon: A blue button with a PDF icon and the text "PDF".
- Author: 坂田, 綾香
- DOI: <https://doi.org/10.51094/jxiv.50>
- Keywords: グループテスト, 確率論
- Abstract: グループテストとは、患者の検査を複数回行って検査することで検査結果を正確にする方法である。本論文では、検査が行われた順序からベイジアン推論を用いて患者の状態を推定する問題を提案する。確率論に基づいて適切なカットオフ値を決定し、カットオフ値を調整することで、検査回数と検査コストを削減する。カットオフ値を適切に選択することで、検査回数と検査コストを削減し、少ない検査回数で適切なカットオフ値の決定が可能であることを示す。
- Downloads: ダウンロード (Bar chart showing downloads for Jun, Jul, Aug, Sep, Oct, Nov, Dec, Jan, Feb, Mar, Apr, May)
- Citation: 引用文献 (Dorfman R 1943 Annals of Mathematical Statistics 14 436-440)

英語インターフェイス (Right):

- Header: Jxiv 英語インターフェイス
- Navigation: Home / Information Sciences
- Language Selection: 言語 (日本語, English)
- PDF Icon: A blue button with a PDF icon and the text "PDF (日本語)".
- Author: Ayaka Sakata
- DOI: <https://doi.org/10.51094/jxiv.50>
- Keywords: Group Testing, Message Passing
- Abstract: Group testing is a method of reducing the number of tests by mixing multiple patient specimens. In this paper, we consider a problem setting in which Bayesian inference is used to identify patients' states from mixed specimens. We describe methods to evaluate the marginal posterior probabilities using the message passing algorithm, and to determine the cutoff value by introducing a risk function. We show that by choosing the cutoff value appropriately, false positives and false negatives of the original test can be corrected with a small number of tests when the prevalence is

Annotations:

- Orange box: 言語 (Language) selection area.
- Purple box: PDF download button in the Japanese interface.
- Orange arrow: Points from the English interface PDF button to the Japanese interface PDF button.
- Purple arrow: Points from the Japanese interface PDF button to a large PDF icon.
- Red box: A large PDF icon with a red border.
- Text: プレプリント (Preprint)

この画面は2023年6月時点の画面であり、実際とは多少異なる可能性があります。

(閲覧マニュアル) https://jxiv.jst.go.jp/jxiv_docs/ja/Jxiv_manual_browsing_ja.pdf

Jxivが受け付ける論文のタイプ

原則として、査読前原稿を掲載する



- ・論文の体裁をなしているもの
(原著論文、総説(レビュー)論文、解説論文等。講義録。)
- ・ジャーナルから許諾を得ている場合に限り、査読コメント反映版、受理公開済み論文
- ・投稿規約の要件を満たしている場合に限り、翻訳版



- ・科学とはいえないもの
- ・法的問題、倫理的問題、剽窃を含むもの
- ・宣伝広告等
- ・公序良俗に反するもの
- ・投稿規約の要件を満たさないもの
- ・他のプレプリントサーバに同一版を投稿公開(二重出版)

※投稿先のジャーナルがプレプリント公開済み論文を受け付けるかの確認が必要です。

国の即時オープンアクセス方針への対応として

Jxivは機関リポジリを持たない研究者の方のリポジリとしてもご利用可能です。



- ・論文の体裁をなしているもの
(原著論文、総説(レビュー)論文、解説論文等。講義録。)
- ・ジャーナルから許諾を得ている場合に限り、査読コメント反映版、**受理公開済み論文**
- ・投稿規約の要件を満たしている場合に限り、翻訳版

※投稿先のジャーナルが機関リポジリでの著者最終稿等の公開をどのタイミングで許諾するかの確認が必要です。

投稿をお待ちしております

科研費による研究成果について、
JSTプレプリントサーバ Jxiv への投稿を
ご検討願います。

ご所属の学会や周囲のコミュニティにJSTのプレプリントサーバを紹介したい場合はこちらのフライヤーを頒布・ご利用いただけます。

宣伝用フライヤー（PDF）：

https://jxiv.jst.go.jp/jxiv_docs/ja/Jxiv_flyer_ja.pdf

ご質問、ご意見、コメントなどは、以下宛先にお寄せください。

preprint@jst.go.jp

The logo for Jxiv, featuring the letters 'Jxiv' in a bold, black, serif font. The letter 'i' has a red dot above it.